TW21A-B36シリーズ

USER'S GUIDE

ユーザーズガイド

◀画面で読むマニュアル▶

Contents

このたびは、TW21A-B36シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書(ユーザーズガイド)では、本機を使うための詳細な説明、および本機で周辺機器を使うための説明を掲載しています。

別冊のセットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続して、Windowsのセットアップを終了するまでの手順を説明しています。本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

また、製品仕様およびその他の製品情報は、当社Webサイトに掲載しております。

ONKYO

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

■ イラストや画面表示に関して

本書中に出てくるWebサイトの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

■ Windows® 8の表記について

本書では、Windows® 8を、Windowsと省略して表記する場合があります。

操作の表記について

■ メニューを選択する操作

つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。たとえば、スタート画面からすべてのアプリケーション一覧画面を表示する動作を、

[アプリバー] → [すべてのアプリ] ボタンをクリックします。

と表記しています。

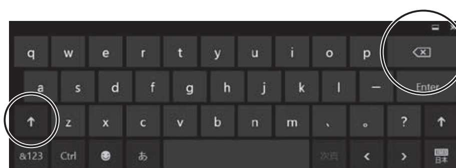


■ 複数のキーを同時に押す操作

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「＋」を使って省略しています。
たとえば、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

Shift ＋ **Delete**

と表記しています。

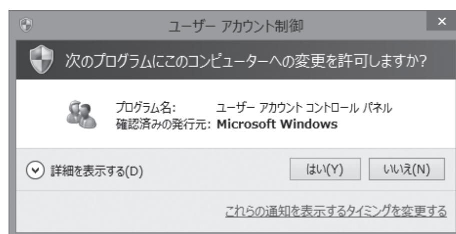


■ ダイアログの表示を省略

Windows 8では、セキュリティー上の観点から、一部設定で操作の許可を求めるダイアログが表示されます。
本書では、これらダイアログの表示を省略して説明しています。
表示されるダイアログは、使用しているユーザーアカウントの権限やユーザーアカウント制御の設定によって異なります。ダイアログが表示された場合は、次のように操作してください。

・アカウントの種類が「管理者」の場合
　[はい] ボタンをクリックします。

・アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合
　アカウントの一覧が表示されます。「管理者」のアカウントにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



セットアップガイドについて

セットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続して、Windowsのセットアップを終了するまでの手順を説明しています。本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

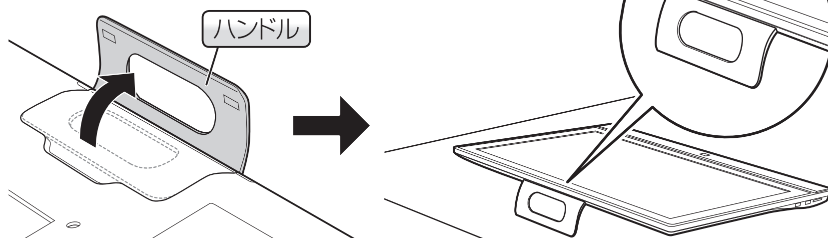


必要な機器を接続する

必要な機器を接続しましょう。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってACコンセントから電源をとる方法と、バッテリーパックを使う方法の2通りあります。

スタンドの調整

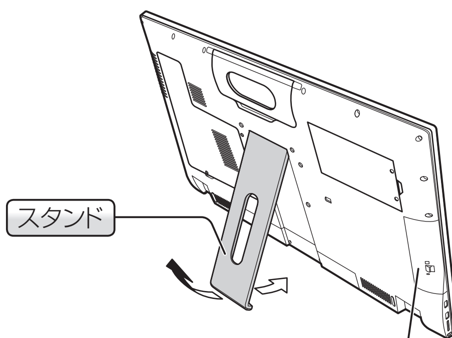
■ 平面置きの場合
本機背面のハンドルをいっぱいまで開きます。



■ 縦置きの場合
スタンドを任意の角度に動かし、本機を設置したときの角度を調整します。



スタンドは約60度の角度までしか開きません。それを超えて無理に開かないでください。本機の破損・故障の原因となります。



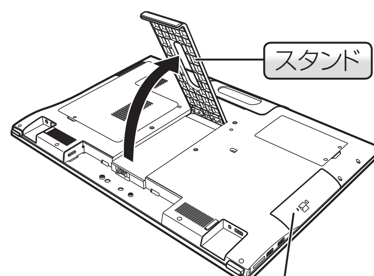
※本機に光学ドライブは付いておりません。

バッテリーパックの取り付け

バッテリーパックを取り付けます。バッテリーは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、バッテリーパックを本機に取り付けてから、ACアダプターを接続してください。バッテリーパックの充電が始まります。

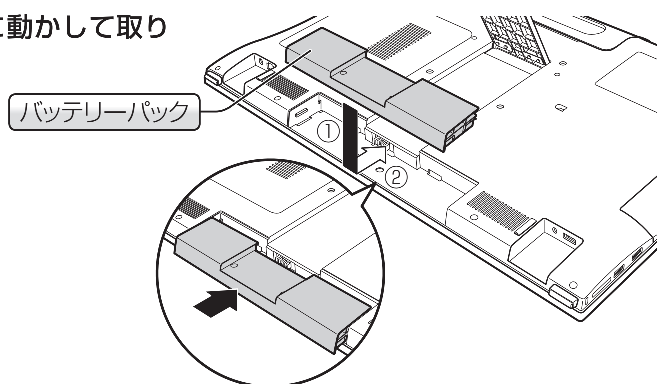
1. **本体を裏返して静かに置きます。**

2. **スタンドを開きます。**

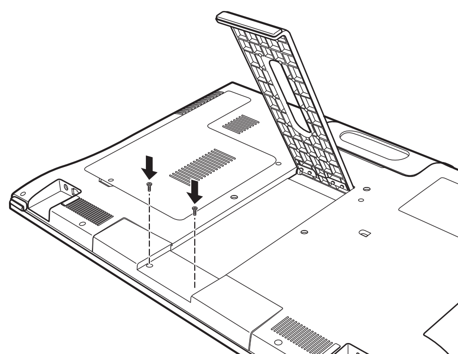


※本機に光学ドライブは付いておりません。

3. **バッテリーパックを矢印の方向に動かして取り付けます。**



4. **バッテリーパックを付属のバッテリーパック固定用ネジで固定します。**



ACアダプターの接続

バッテリーは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、バッテリーパックを本機に取り付けてから、ACアダプターを接続してください。バッテリーパックの充電が始まります。


警 告

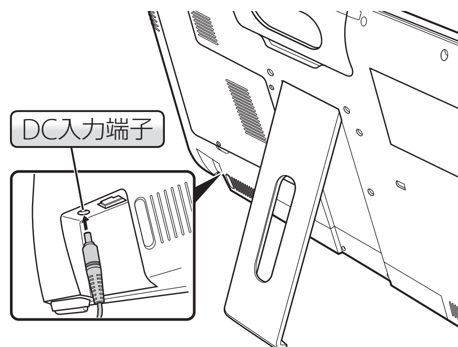
- **オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社純正のACアダプターおよび電源ケーブル以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターおよび電源ケーブルの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターおよび電源ケーブルが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**



バッテリーパックの充電中も本製品を使用できます。

■ ACアダプターの接続とバッテリーの充電

1. **ACアダプターのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。**

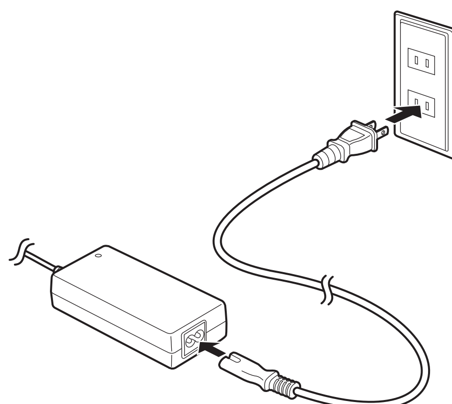


※ACアダプターの形状は、実物とは若干異なる場合があります。

2. 電源ケーブルをACアダプターと電源コンセントに接続します。

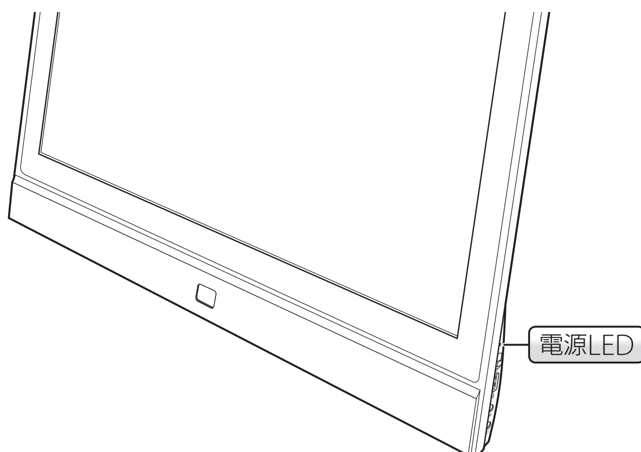
電源LEDが赤色に点滅し、バッテリーパックの充電が始まります。

バッテリーのみで使用するときは、電源LEDの点灯状態を確認して充電されたことを確認後、ACアダプターを取り外してください。
AC電源で使用するときは、このままACアダプターを接続してください。



電源LEDの表示

本機のバッテリーの状態を、電源LEDで確認できます。



電源LEDの表示とバッテリーの状態

電源LEDの表示は、本機の電源がONとOFFの場合で異なります。

電　源	状　態	内　容
ON	点滅（青と赤）	バッテリーが充電中の状態です。
	点灯（ピンク）	バッテリー残量が少ない状態（10%以下）です。 すぐにACアダプターを接続して電源を供給するか、電源をOFFにしてください。
	点灯（青）	バッテリーが満充電時など、充電を停止している状態です。
OFF	点滅（赤）	バッテリーが充電中の状態です。
	消灯	バッテリーが満充電時など、充電を停止している状態です。



- **バッテリーパックは、バッテリー動作中に交換することはできません。**
  必ず「バッテリーパックの交換」（☞5ページ）の説明に従って交換してください。
- **バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションソフトの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。**
  バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションソフトの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

バッテリーパックの交換

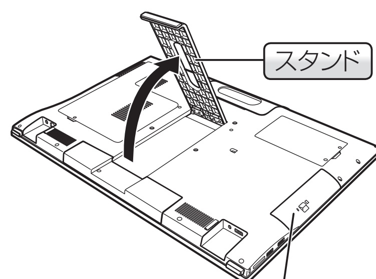
バッテリーパックは、電源がOFFの状態で交換します。交換前に、電源LEDが消灯していることを確かめてください。



- オンキヨーデジタルソリューションズ純正のバッテリーパック以外のバッテリーは絶対に使用しないでください。また、バッテリーパックの分解や破壊、火中への投入、加熱、端子の短絡なども絶対におこなわないでください。爆発や火災を起こす恐れがあります。
- バッテリーパックの取り扱いについては「安全上のご注意」(セットアップガイド)も必ずお読みください。
- スリープ状態でバッテリーパックの交換をおこなうと、データが破損する恐れがあります。

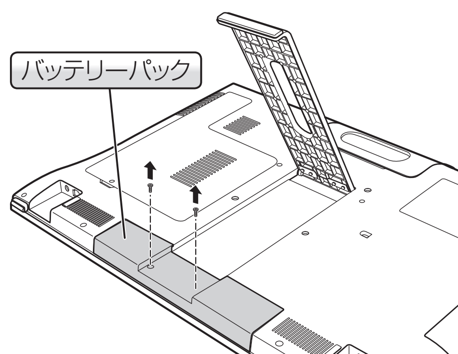
1. 本体を裏返して静かに置きます。

2. スタンドを開きます。

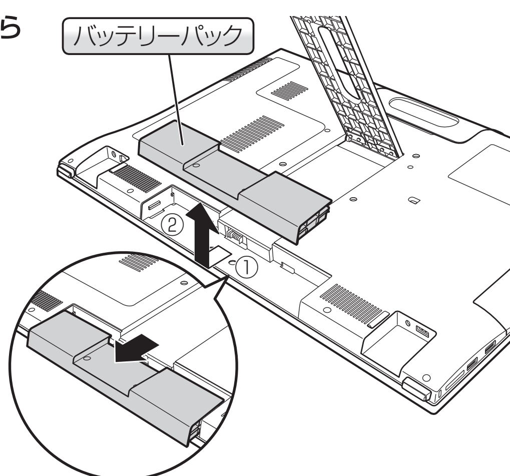


※本機に光学ドライブは付いておりません。

3. バッテリーパックを固定しているネジ(2箇所)を取り外します。



4. バッテリーパックを矢印の方向に動かしながら取り外します。



5. 「バッテリーパックの取り付け」(☞2ページ)の手順3〜4をおこないます。

タッチパネルの操作

タッチパネルにタップすることで、マウスのクリックやダブルクリックの操作ができます。

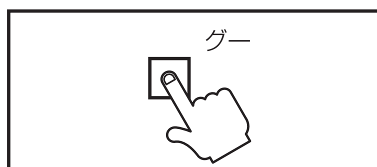
■ クリックする
アイコンなどを選択します。クリックするには、画面をタップします。



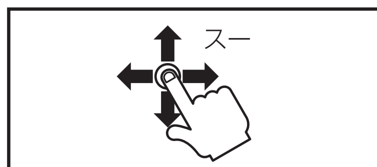
■ ダブルクリックする
アイコンなどを起動させます。ダブルクリックするには、ダブルクリックしたいものをすばやく2度タップします。



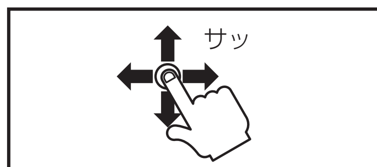
■ 右クリックする
マウスの右ボタンをクリックする動作です。
右クリックするには、アイコンなどを2秒間タップして四角で囲まれたところで離します。



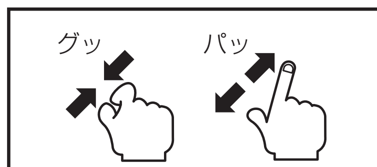
■ ドラッグする
アイコンなどを任意の場所に移動します。ドラッグするには、ドラッグしたいものにタップしたまま、任意の場所へ移動します。



■ フリックする
フリックする起点に指をあて、そのまま筆を払うように指を離します。



■ ピンチイン／ピンチアウトする
2本の指で2つの起点に指をあて、指を離したり、近づけたりします。画像を拡大、縮小させるときに使用します。




タッチパネルを強く押さないでください。タッチパネルの下側にあるカラー液晶ディスプレイに干渉し、しみになったり、不具合が発生する可能性があります。

ソフトキーボードを使う

ソフトキーボードはブラウザでの検索や、メールなどの文章入力時に使用します。

通常、キーボードは画面上に表示されていません。ブラウザ上の検索枠をクリックしたときなどの入力場面に表示されます。



入力場面によって、キーボードの上の表示画面は異なります。



■ デスクトップでソフトキーボードを表示するには

デスクトップ画面では、入力場面でも自動でソフトキーボードは表示されません。
デスクトップ画面でソフトキーボードを表示するには、通知領域に表示されているをクリックします。



■ キーボード画面について



① Shift（シフト）キー
アルファベットの小文字と大文字を切り替えます。
Shiftキーが有効の場合は、キーが白色に表示されます。

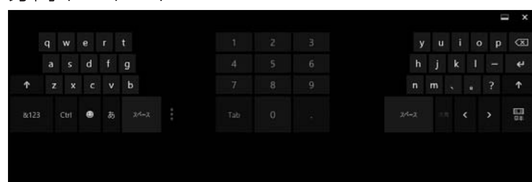
② BackSpace（バックスペース）キー
現在のカーソル位置の１つ左の文字を削除します。
以降の文字列は左につまります。

③ 表示切り替えキー

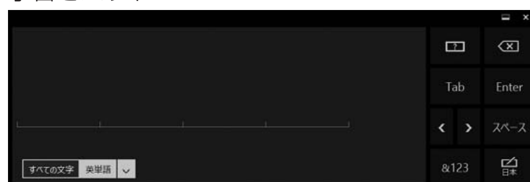
「タッチキーボード」「分割キーボード」「手書きパッド」「キーボードを非表示」および入力言語の切り替えができます。



分割キーボード

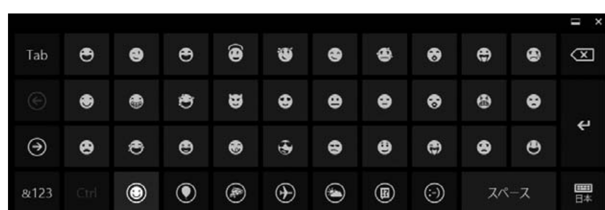


手書きパッド



④ 絵文字キー

絵文字の一覧を表示します。
をクリックすると、次の絵文字一覧が表示されます。をクリックすると、前の絵文字一覧に戻ります。



⑤ 記号/数字キー

記号や数字などの一覧を表示します。
をクリックすると、次の記号一覧が表示されます。をクリックすると、前の記号一覧に戻ります。



電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。
電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

電源のON

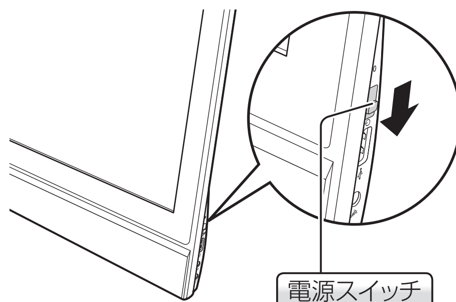
本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows 8のスタート画面が表示されます。

1. **電源スイッチを下方向へスライドします。**

しばらくすると、スタート画面が表示されます。
※表示される画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。



パスワードの入力が必要な場合は、サインイン画面が表示されます。パスワードを入力して、→をクリックします。



電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. **[チャームバー]→[設定]ボタン→[電源]ボタン→[シャットダウン]を選択します。**


注意

- **電源スイッチを4秒以上、下にスライドし続けると、強制的に電源がOFFになります。**
- **電源ケーブルを抜いて突然電源をOFF(バッテリー無の場合)にしたり、上記の方法で強制的に電源をOFFにすると故障の原因になります。**



本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを下方向にスライドさせます。

■ スリープ

作業を中断して、本機の使用をすぐに再開できる「スリープ」機能があります。

1. **［チャームバー］→［設定］ボタン→［電源］ボタン→［スリープ］を選択します。**

スリープ状態に入ります。
スリープ状態から元の状態に戻すには、電源スイッチを下方向にスライドします。



■ 再起動

デバイスドライバーのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定（画面が乱れたり、画面が動かない）になったときは、Windowsを再起動させます。
［チャームバー］→［設定］ボタン→［電源］ボタンを選択し、［再起動］を選択すると再起動が実行されます。



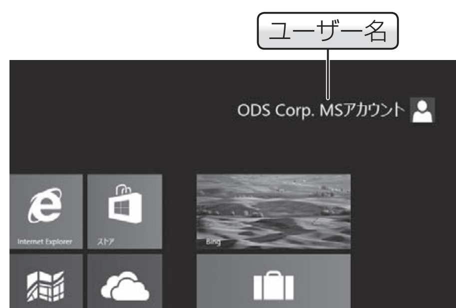
アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Windowsボタンを長押し（4秒間）して表示される画面で「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションを終了させることができます。

ユーザーアカウントの切り替え

本機に複数のユーザーアカウントが登録されているとき、本機の電源をONにしたままで、ユーザーアカウントを切り替えることができます。

1. **スタート画面の[ユーザー名]をクリックします。**

「アカウント」メニューが表示されます。



2. **[サインアウト]または一覧表示されている[(他のユーザーアカウント名)]を選択します。**

[(他のユーザーアカウント名)]を選択すると、現在のユーザーアカウントをサインインしたまま、ユーザーアカウントを切り替えることができます。[サインアウト]を選択すると、現在のユーザーアカウントをサインアウトします。



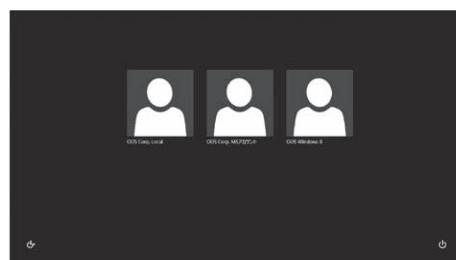
[(他のユーザーアカウント名)]を選択すると、パスワードの入力が必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。



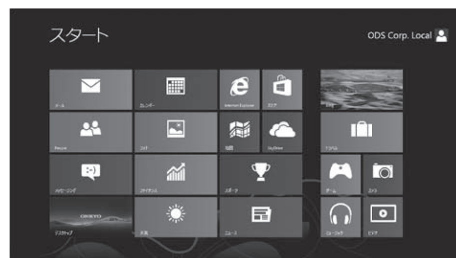
3. **[サインアウト]を選択した場合は、ロック画面を解除し、本機の使用を開始するユーザーアカウントを選択します。**



・パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力します。
・パスワードが拒否された場合は、大文字と小文字を間違って入力していないか再度ご確認ください。Windows 8では、Tarouとtarouは違う文字列として判別されます。



しばらくすると、Windows 8のスタート画面が表示されます。
※表示される画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。





「アカウント」メニューのその他の項目

「アカウント画像の変更」：ユーザーアカウントの画像を設定する画面が表示されます。
「ロック」：作業状態を保持したまま、Windowsを使用できない状態にします。一時的に離席するときなどに使用します。

Windows 8の基本操作

本機のWindows 8の基本操作を説明します。

ロック解除のしかた

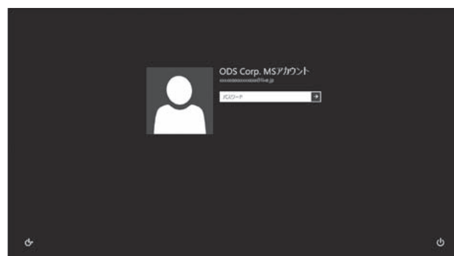
1. **ロック画面を上にフリックします。**
パスワードが必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。



- ロック画面でマウスをクリックしても表示されます。
- 本機に複数のユーザーアカウントを設定している場合は、ユーザーアカウントの選択画面が表示されます。使用するユーザーアカウントをクリックしてください。



2. **パスワードを入力し、➔をクリックします。**
スタート画面（☞下記）が表示されます。



スタート画面について

Windows 8が起動すると、はじめに表示される画面です。
画面に表示されているタイルをクリックすることで、アプリケーションや各種機能を実行できます。

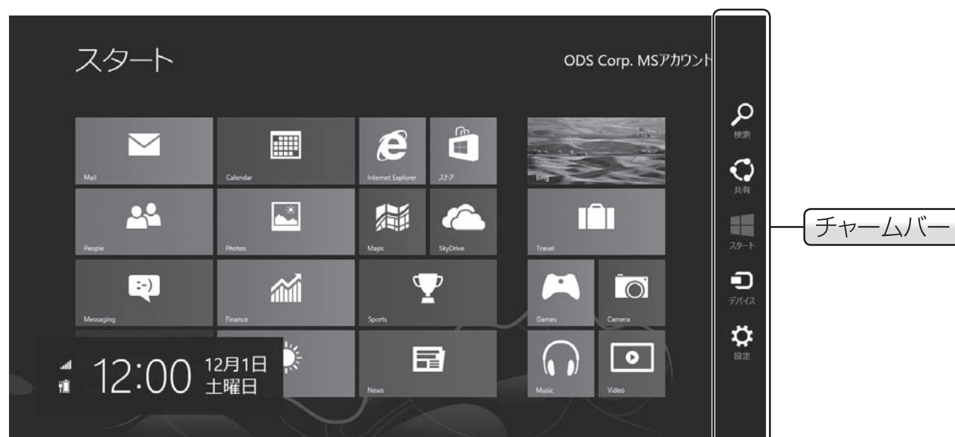




- スタート画面に、よく使うアプリケーションやリンクを、タイルとして任意に追加できます。（☞15ページ）
- 各画面からスタート画面に戻るには、チャームバー（☞13ページ）を使うか、Windowsボタンを押します。

チャームバー

基本的な機能をおこなうためのメニューが表示されます。





検索
検索とアプリケーションの起動がおこなえます。検索する対象は起動中のアプリケーションによって異なります。



共有
ファイルなどを他のアプリケーションと共有できます。



スタート
スタート画面を表示します。



デバイス
他の機器にファイルなどを送ります。印刷などもデバイスからおこないます。



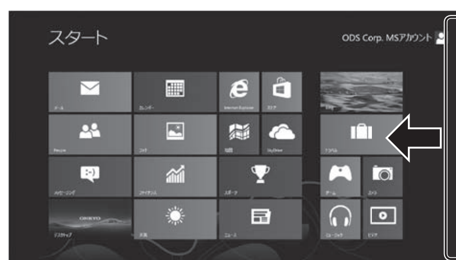
設定
表示中のアプリケーションの設定をおこないます。[PC 設定の変更] ボタンで全体の設定画面が表示されます。

■ チャームバーを表示する

チャームバーを表示するには画面の右端からフリックします。



マウスを画面の右上端にあわせて、そのまま下へ移動させても表示されます。



アプリバー／ナビゲーションバー

表示中のアプリケーションを操作するためのメニューが表示されます。



■ アプリバー／ナビゲーションバーを表示する

アプリバー／ナビゲーションバーを表示するには画面の上端または下端からフリックします。



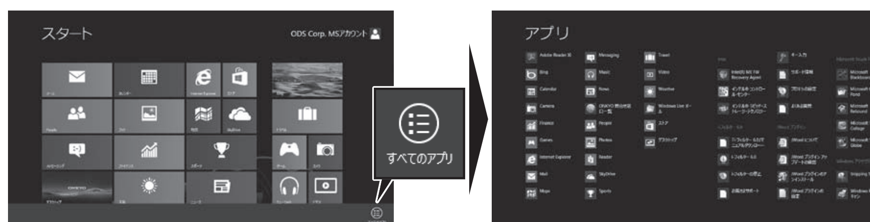
・マウスの右クリックでも表示されます。
・表示されるメニューや機能は、起動中のアプリケーションによって異なります。





アプリケーションの一覧画面を表示するには

スタート画面のアプリバーに表示される［すべてのアプリ］ボタンをクリックすると、本機内のすべてのアプリケーションが表示されます。



起動中のアプリケーションを切り替える

起動中のアプリケーションを切り替えて使用できます。

■ 起動中のアプリケーションを順番に切り替える

画面の左端からフリックすると順番にアプリケーションが切り替わります。



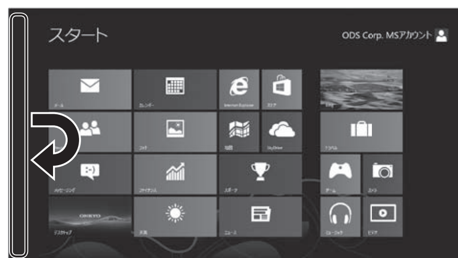
マウスを画面の左上端にあわせてクリックすることでも切り替わります。

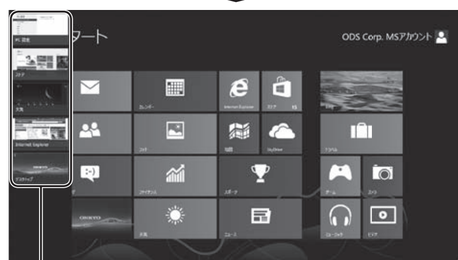


■ 起動中のアプリケーションを一覧で表示して選択する

画面の左端をドラッグして、そのまま画面の左端に戻すと起動中のアプリケーション一覧が表示されます。
表示されたアプリケーション一覧からサムネイルをクリックすると、アプリケーションが切り替わります。


マウスを画面の左上端にあわせて、そのまま下へ移動させても表示されます。





起動中のアプリケーション一覧

アプリケーションを終了させる

アプリケーションを終了させるには、終了させたいアプリケーションの画面の上端から、画面の下端までドラッグし、画面が半透明になったらドロップします。



よく使うアプリケーションやURLをスタート画面に登録（ピン留め）する

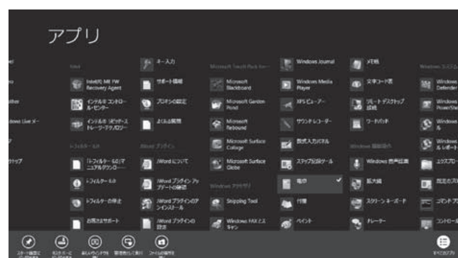
よく使うアプリケーションやお気に入りのWebページなどをスタート画面に登録（ピン留め）できます。

■ アプリケーションを登録する

1. **アプリバーから［すべてのアプリ］ボタンをクリックし、表示される一覧から登録したいアプリケーションを上、または下にフリックします。**

アプリケーションが選択状態になり、アプリバーが表示されます。


アプリケーション上で、マウスの右クリックをしても選択されます。



2. **アプリバーの［スタート画面にピン留めする］ボタンをクリックします。**

スタート画面にアプリケーションが登録されます。



■ Webページを登録する

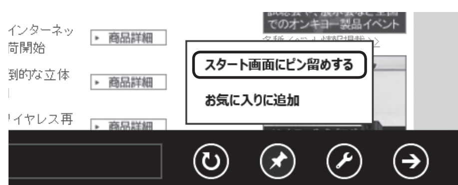
1. **Internet Explorerで、アプリバーを表示し、⊘をクリックします。**

次の画面が表示されます。



2. **［スタート画面にピン留めする］ボタンをクリックします。**

次の画面が表示されます。



3. **任意の名前を入力し、［スタート画面にピン留めする］ボタンをクリックします。**

スタート画面にWebページが登録されます。





登録を解除するには、スタート画面で登録したタイルを選択し、アプリバーから［スタート画面からピン留めを外す］ボタンをクリックします。

デスクトップ画面の表示

従来のWindowsと同様のデスクトップ画面を表示できます。デスクトップ画面では、ファイルを管理したり、既存のアプリケーションを実行できます。
デスクトップ画面を表示するには、スタート画面に表示されている「デスクトップ」タイルをクリックします。



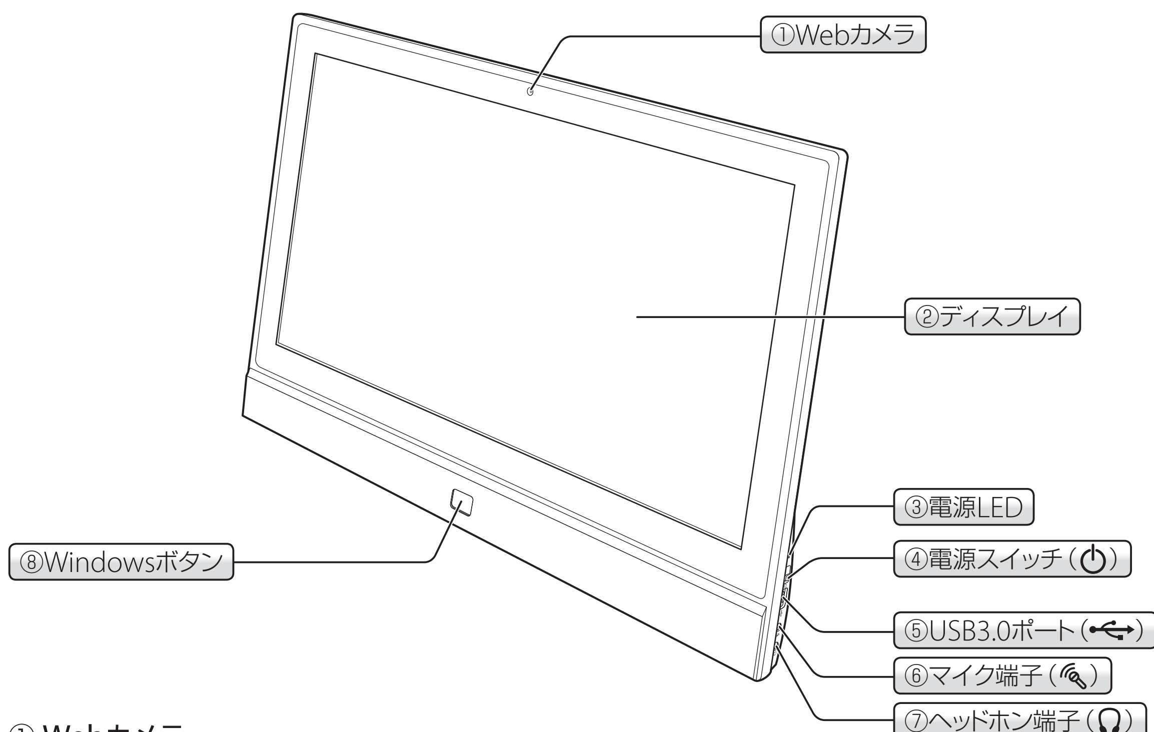


従来のアプリケーションをスタート画面で選択すると、自動的にデスクトップ画面に移動してからアプリケーションが起動します。

各部の名前と機能を確認する

本体各部の名前とその機能について説明しています。

まえ/みぎ



① Webカメラ
静止画や動画を撮影できる内蔵のカメラです。Webカメラが動作しているときは、Webカメラの横にあるLEDが点灯します。

② ディスプレイ
本機のディスプレイはタッチパネルになっています。ディスプレイにタッチすることで、マウスと同じようにWindowsを操作できます。

③ 電源LED
電源が入っている状態、およびバッテリーの充電状態（☞4ページ）を表示します。
点灯（青）：本機の電源がONの状態です。
点滅（青）：本機がスリープの状態です。スリープの状態から復帰する場合は、電源スイッチを下方向へスライドします。

④ 電源スイッチ（⏻）
電源OFF時に電源スイッチを下方向へスライドすると、本機の電源をONにします。（☞9ページ）
電源ON時に下方向へスライドすると、設定した動作を実行します。初期設定ではスリープ状態に設定されています。
設定は［アプリバー］→［すべてのアプリ］ボタン→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［電源オプション］欄の［電源ボタン動作の変更］で選択できます。

⑤ USB3.0ポート（⭠⭢）
USB3.0対応の周辺機器を接続します。USB2.0およびUSB1.1対応の周辺機器も接続できます。
ただし、転送速度などは、それぞれUSB2.0規格（Hi-Speed）・USB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。

⑥ マイク端子（ ）
マイクロホンを接続します。マイクロホンからの音声を本機に取り込みます。

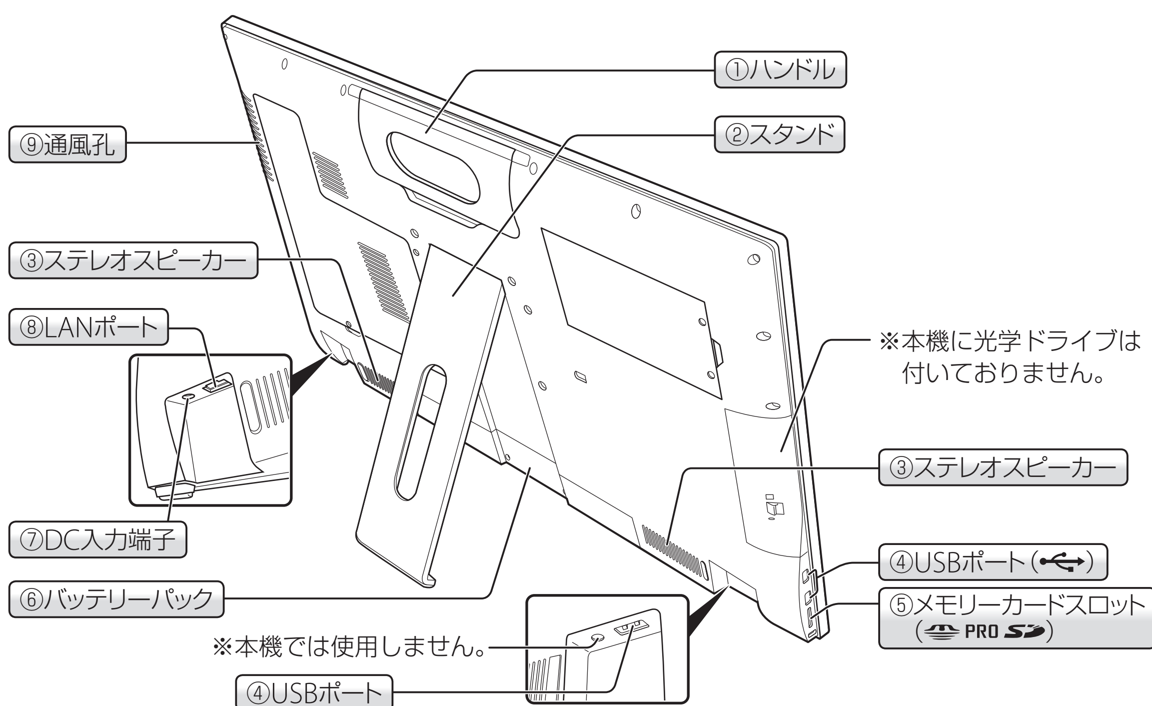
⑦ ヘッドホン端子（ ）
ヘッドホンを接続します。

⑧ Windowsボタン
押すごとに現在作業中の画面と、スタート画面が切り替わります。長押し（4秒間）すると、ユーザーの切り替えやタスクマネージャを起動する画面（キーボードの Ctrl ＋ Alt ＋ Delete 操作で表示される画面）が表示されます。



アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Windowsボタンを長押し（4秒間）して表示される画面で「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションを終了させることができます。

うしろ/ひだり



① ハンドル
本機を持ち運ぶ際に起こしてつかみます。また、本機を平面置きで使用する場合のスタンドになります。

② スタンド
本機を縦置きで使用する場合のスタンドです。スタンドの角度を変更することで、ディスプレイの角度を調整できます。



スタンドは約60度の角度までしか開きません。それを超えて無理に開かないでください。本機の破損・故障の原因となります。

③ ステレオスピーカー
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

④ USBポート（）
USB2.0対応の周辺機器を接続します。USB1.1対応の周辺機器も接続できますが、転送速度などはUSB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。

⑤ メモリーカードスロット（ PRO ）
以下のメモリーカードを差し込みます。

・メモリースティック	・メモリースティックPRO
・SDメモリーカード	・SDHCメモリーカード
・SDXCメモリーカード	・MMC



・メモリーカードにはそれぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「microSDカード」など、一覧に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

⑥ バッテリーパック
電源コンセントが無い場所でパソコンを動作させるためのバッテリーです。（☞2ページ）

⑦ DC入力端子
付属のACアダプターを接続します。（☞3ページ）

注 意

・付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

⑧ LANポート
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TのLAN接続ができます。


注 意

本機のLANポートに接続できるケーブルは10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T規格のイーサーネットケーブルだけです。それ以外の規格のケーブルは使用しないでください。特にISDNケーブル、モジュラーケーブルは、絶対にLANポートへ接続しないでください。故障の原因となります。

⑨ 通風孔
パソコン内部の熱を冷却する風を通します。壁などで塞がないでください。

音量の調整

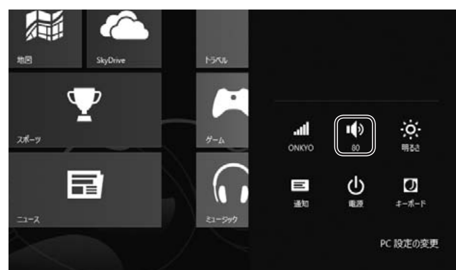
本機には、サウンド機能が搭載されており、音声を出力できます。ここでは、音声の音量を調整する方法を説明します。

Windowsから調整する

Windowsを使って、音量を調整します。

1. **[チャームバー] → [設定] ボタンで表示される画面で [スピーカー] アイコンをクリックします。**

音声を調整するバーが表示されます。



2. **次の項目を設定します。**

音量

ドラッグして、音量を調整します。

ミュート

音声のON/OFFを切り替えます。



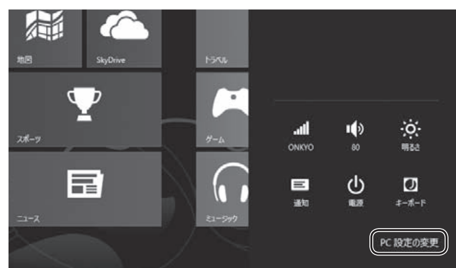
表示画面の変更

壁紙やウィンドウのデザインなど、表示される画面のデザインを任意に変更することができます。
ここでは、表示される画面のデザインを変更する方法について説明します。

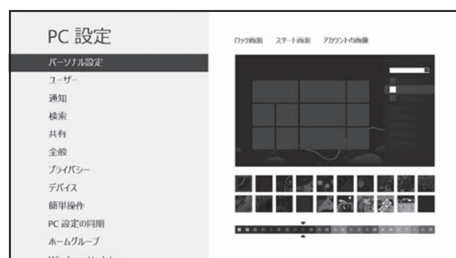
スタート画面のデザインを変更する

スタート画面の壁紙や色を変更します。

1. **[チャームバー] → [設定] ボタンで表示される画面で [PC 設定の変更] をクリックします。**
「PC 設定」画面が表示されます。



2. **[パーソナル設定] → [スタート画面] を選択し、表示される画面で、設定したい壁紙および色を選択します。**
選択した壁紙および色に変更されます。



ロック画面の設定をする

ロック画面の画像や、ロック画面に表示するアプリケーションなどを設定します。

1. **[チャームバー] → [設定] ボタン→ [PC 設定の変更] → [パーソナル設定] → [ロック画面] を選択し、表示される画面で、設定したい画像およびアプリケーションを選択します。**
選択した設定に変更されます。



アカウント画像を設定をする

サインインしているアカウントに画像を設定できます。
設定した画像は、サインイン画面やロック解除画面、スタート画面などに表示されます。

1. **［チャームバー］→［設定］ボタン→［PC 設定の変更］→［パーソナル設定］→［アカウントの画像］を選択し、既存の画像を使用する場合は、［参照］ボタンをクリックして、画像を選択します。**

アカウントの画像が設定されます。



アカウントの画像は、撮影して設定することができます。
アカウントの画像をあらたに撮影する場合は、［カメラ］をクリックして撮影します。

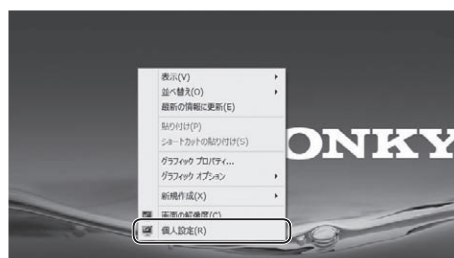


デスクトップの視覚効果や音を変更する

デスクトップの壁紙やウィンドウ、効果音など、あらかじめWindowsに用意されたデザインに変更します。

1. **デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、［個人設定］を選択します。**

【個人設定】ダイアログが表示されます。



2. **表示されるテーマの一覧から、設定したいテーマを選択します。**

選択したテーマにしたがい、デザインが変更されます。



デスクトップの壁紙を変更する

【個人設定】ダイアログから［デスクトップの背景］を選択すると、デスクトップの背景（壁紙）を変更できます。
背景は、Windowsにあらかじめ用意されているものから選択したり、自分で用意した画像に変更することができます。



デスクトップの色合いを変更する

【個人設定】ダイアログから［色］を選択すると、ウィンドウの色を変更できます。

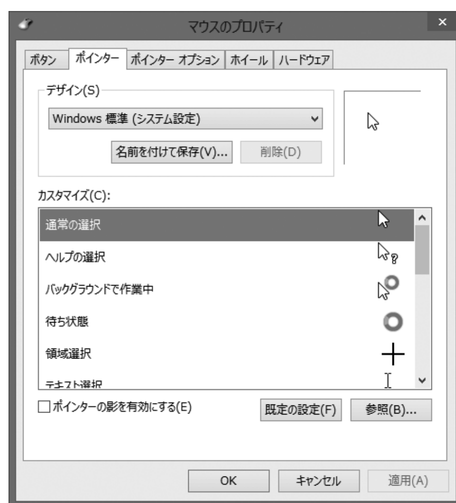




自動を選択すると、壁紙の画像によって自動的にウィンドウの色が変化します。

マウスポインターを変更する

【個人設定】ダイアログから［マウスポインターの変更］を選択すると、マウスポインターの形状を変更できます。



解像度の変更

デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、［画面の解像度］を選択すると、画面の解像度を変更できます。



ワイヤレスLANの使用

本機には、「IEEE802.11b/g/n」規格に準拠したワイヤレスLANモジュールが内蔵されており、他のパソコンと無線通信ができます。

ワイヤレスLANとは

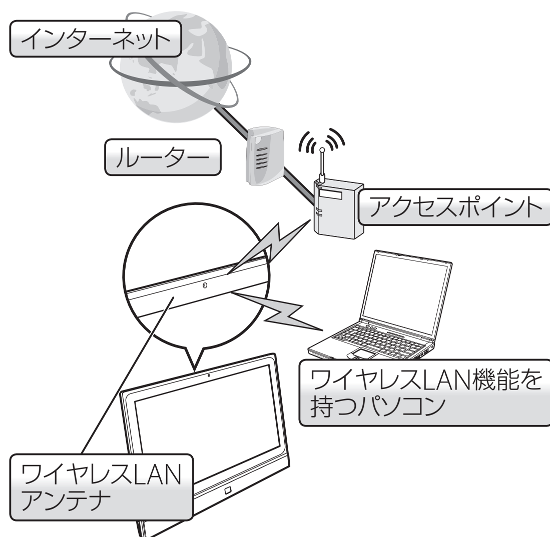
ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる別売の中継機器や、ワイヤレスLAN機能を持つ他のパソコンと無線通信でデータをやり取りできます。

■ インターネットにも接続可能

市販のルーターにアクセスポイントを接続して、本機にケーブルを接続することなく、ワイヤレスLANでインターネットに接続できます。



・ワイヤレスLAN機能は、IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11n方式に準拠しています。それ以外の方式およびBluetooth方式対応の通信機器とは通信できません。
・電波障害によるノイズの発生など他の機器に影響を与える場合や、ワイヤレスLANの機能を使わないときは、ワイヤレスLAN機能をOFFにしてください。
・無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。



セキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティーに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

■ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

セキュリティーの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの仕様

ワイヤレスLANモジュールの仕様です。
※通信速度、通信距離は使用状況、電波環境、接続機器、使用のアプリケーションなどにより異なります。
※通信速度は規格による速度（理論値）であり、実際のデータ転送速度とは異なります。

規　格	IEEE802.11n準拠（2.4GHz帯） IEEE802.11b/g準拠（2.4GHz帯）
最大通信速度	150Mbps（IEEE802.11n） 54Mbps（IEEE802.11g） 11Mbps（IEEE802.11b）

※通信中にレーダー波（気象レーダーなど）を検出した場合、チャンネルの自動変更のため通信が中断される場合があります。

ワイヤレスLANに接続する

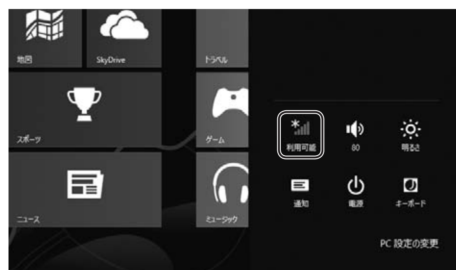
■ 自動認識での設定

1. **［チャームバー］→［設定］ボタンで表示される画面で（利用可能）をクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。



（利用不可）が表示されている場合は、ワイヤレスLANの機能が無効になっている可能性があります。
「ワイヤレスLANの機能のON/OFFを切り替える」（☞28ページ）を参照してワイヤレスLANの機能を有効にしてください。

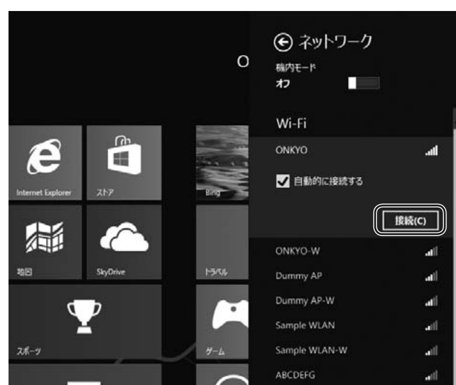


2. **ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、［接続］ボタンをクリックします。**

セキュリティキーを設定している場合は、セキュリティキーの入力画面が表示されます。



- セキュリティキーを設定していない場合は、手順4に進みます。
- 一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合、「手動での設定」（☞26ページ）をおこなってください。



3. **セキュリティキーを入力して、［次へ］ボタンをクリックします。**

共有の設定を選択する画面が表示されます。



4. **共有の設定を選択します。**

本機がワイヤレスネットワークに接続されます。

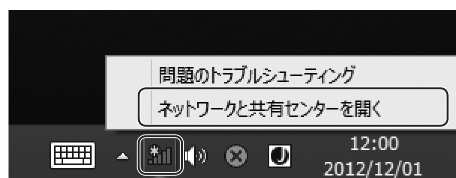
別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。



■ 手動での設定

1. **デスクトップを表示し、通知領域の を右クリックして、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。**

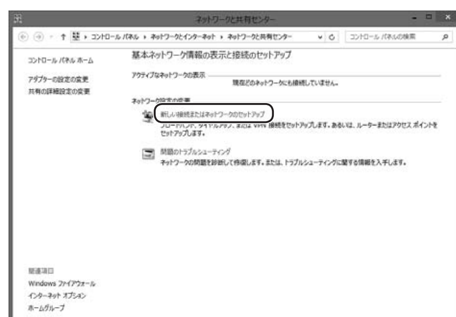
【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。



- 通知領域に が表示されていない場合は、 をクリックすると表示されます。
- が表示されている場合は、ワイヤレスLANの機能が無効になっている可能性があります。
  「ワイヤレスLANの機能のON/OFFを切り替える」（☞28ページ）を参照してワイヤレスLANの機能を有効にしてください。

2. **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。**

【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。



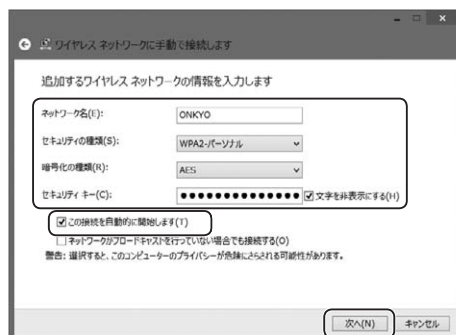
3. **「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ダイアログが表示されます。



4. **「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を設定し、「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れて、[次へ] ボタンをクリックします。**

【正常に（ネットワーク名）を追加しました】ダイアログが表示され、本機がワイヤレスネットワークに接続されます。



5. **[閉じる] ボタンをクリックします。**



別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。



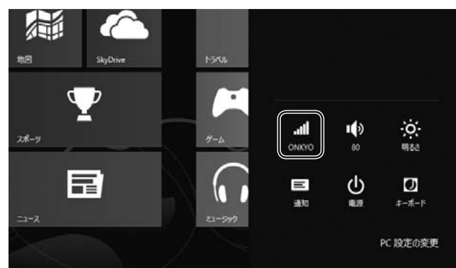
■ ワイヤレスLAN接続を終了する

1. **[チャームバー] → [設定] ボタンで表示される画面で（ネットワーク名）をクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

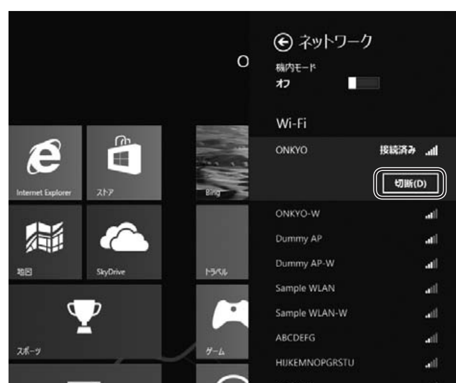


アイコンの下には、接続中のネットワーク名が表示されてます。



2. **接続しているワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、［切断］ボタンをクリックします。**

本機がワイヤレスネットワークから切断されます。



ワイヤレスLANの機能のON/OFFを切り替える

ワイヤレスLANの機能のON/OFFを切り替えます。

1. **［チャームバー］→［設定］ボタン→［PC 設定の変更］→［ワイヤレス］を選択し、ワイヤレスデバイスの「Wi-Fi」スライドをON/OFFします。**

ワイヤレスLANの機能がONまたは、OFFになります。



ブルートゥース（Bluetooth）の使用

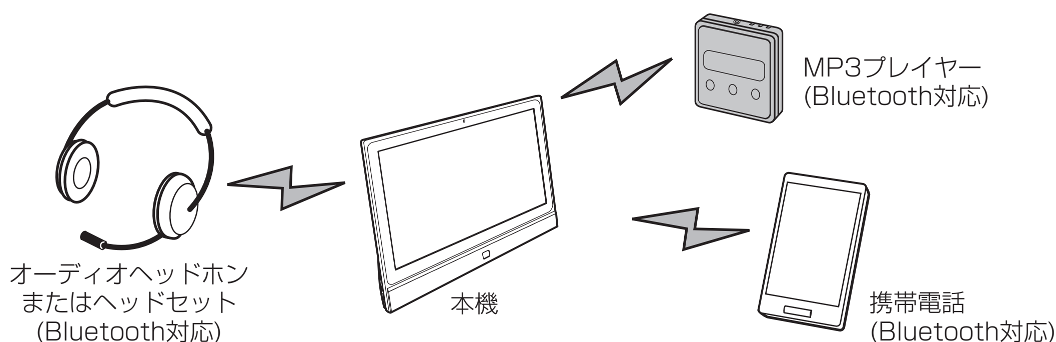
本機は、Bluetoothの標準規格である「Bluetooth 4.0+HS」に対応しており、Bluetoothの通信機能を使用できます。ここでは、Bluetoothの基本的な知識と、接続方法を説明します。

Bluetoothとは

Bluetoothを使うと、Bluetoothに対応するパソコンやMP3プレイヤー・携帯電話・ヘッドセットなどの製品間で、ケーブルを使わずに音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10～100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。
Bluetooth機能を使うには、ペアリングによって接続対象を特定し、双方に同一のパスキーを入力して接続を確立します。



- Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
- 携帯電話やヘッドセットなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。



Bluetoothの接続

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは例として、別売のBluetooth対応キーボードとの接続を例にとって説明します。



Bluetoothを使わないときは、Bluetoothの機能をOFFにしてください。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

■ ペアリングを設定する

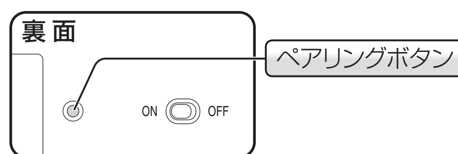
Bluetooth対応の機器同士が接続できる状態にすることを、「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングの設定をする必要はありません。
ここでは、ペアリングの設定方法を説明します。

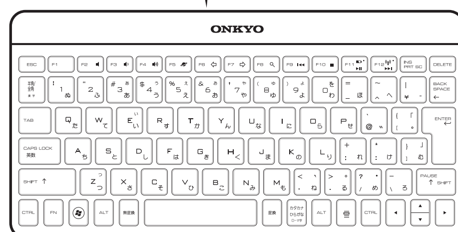
1. **Bluetooth機器にあるペアリングボタンを押します。**

キーボードがペアリングモードになります。



ペアリングモードになると、キーボードの F12 キーのLEDが3分間点滅します。

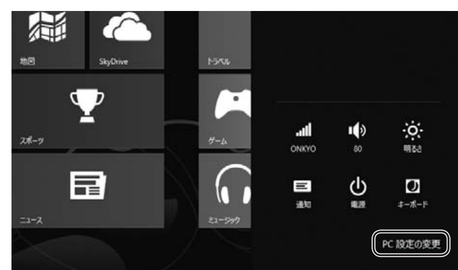




※イラストは、オンキヨー製Bluetooth対応キーボードの例です。

2. **[チャームバー] → [設定] ボタンで表示される画面で [PC 設定の変更] をクリックします。**

「PC 設定」画面が表示されます。



3. **[デバイス] を選択し、表示されるメニューから「デバイスの追加」をクリックします。**

【デバイス選択】ダイアログが表示されます。



4. **追加するデバイスを選択します。**

画面にペアリングコードが表示されます。



ペアリングコードの入力および、確認が必要のないデバイスと接続する場合は、自動でドライバーのインストールがはじまり、正常にインストールされると接続が完了します。



5. **接続するデバイスに、画面に表示されたペアリングコードを入力し、Enter キーを押します。**





- 画面に入力枠は表示されません。
- 接続するデバイスによっては、本機と接続するデバイスに同じペアリングコードが表示されているか確認するメッセージが表示されます。
  同じペアリングコードが表示されていることを確認し、［はい］ボタンをクリックします。

6. **自動でドライバーのインストールがはじまります。**



正常にインストールされると、一覧にデバイスが登録されます。
これで接続は完了です。





ペアリングをおこなった後でも、起動、再起動、スリープからの復帰後などはBluetooth機器の再認識に10秒程度の時間がかかります。
再認識されるまで待ってから、機器を操作してください。

Bluetoothの機能のON/OFFを切り替える

Bluetoothの機能のON/OFFを切り替えます。

1. **［チャームバー］→［設定］ボタン→［PC 設定の変更］→［ワイヤレス］を選択し、ワイヤレスデバイスの「Bluetooth」スライドをON/OFFします。**

Bluetoothの機能がONまたは、OFFになります。





- **Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずBluetoothの機能をOFFにしてください。**

周辺機器の接続

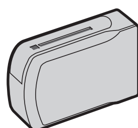
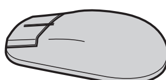
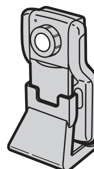
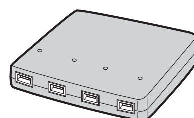
本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。

みぎ

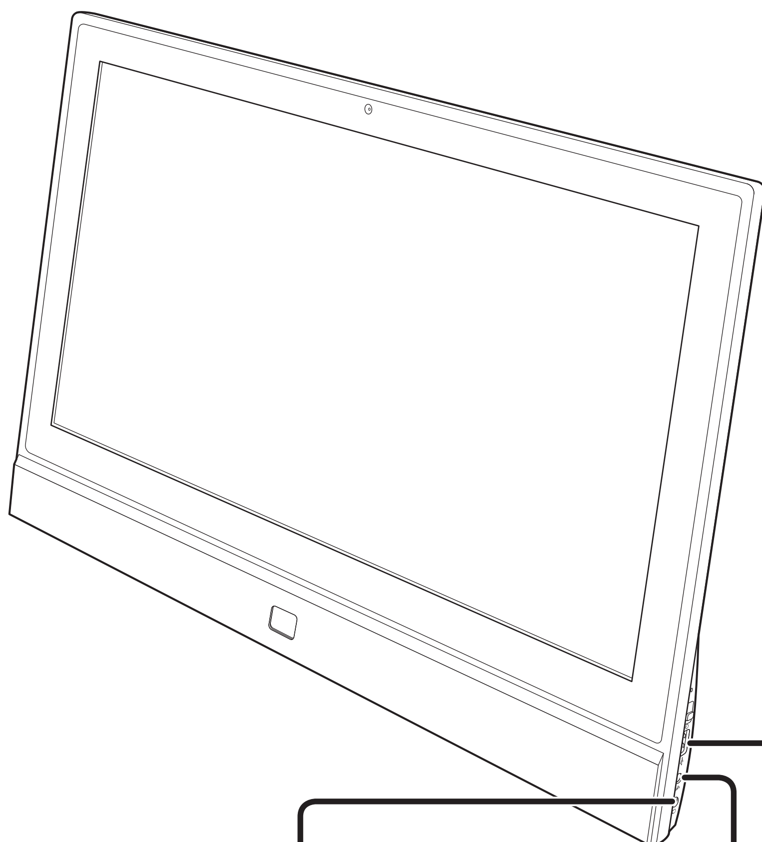


USB3.0ポート

USB3.0/2.0/1.1対応の周辺機器（☞37ページ）

・カードリーダー/ライター　・USB対応マウス　・CCDカメラ　・USBハブ　など





ヘッドホン端子

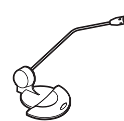
ヘッドホン
（☞36ページ）





マイク端子

マイクロホン
（☞36ページ）

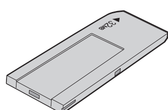


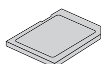
ひだり/うしろ

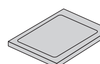


メモリーカードスロット

メモリーカード（☞38～40ページ）







・メモリースティック
・メモリースティックPRO

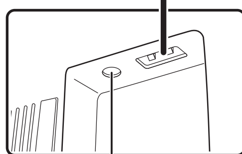
・SDメモリーカード
・SDHCメモリーカード
・SDXCメモリーカード

・MMC

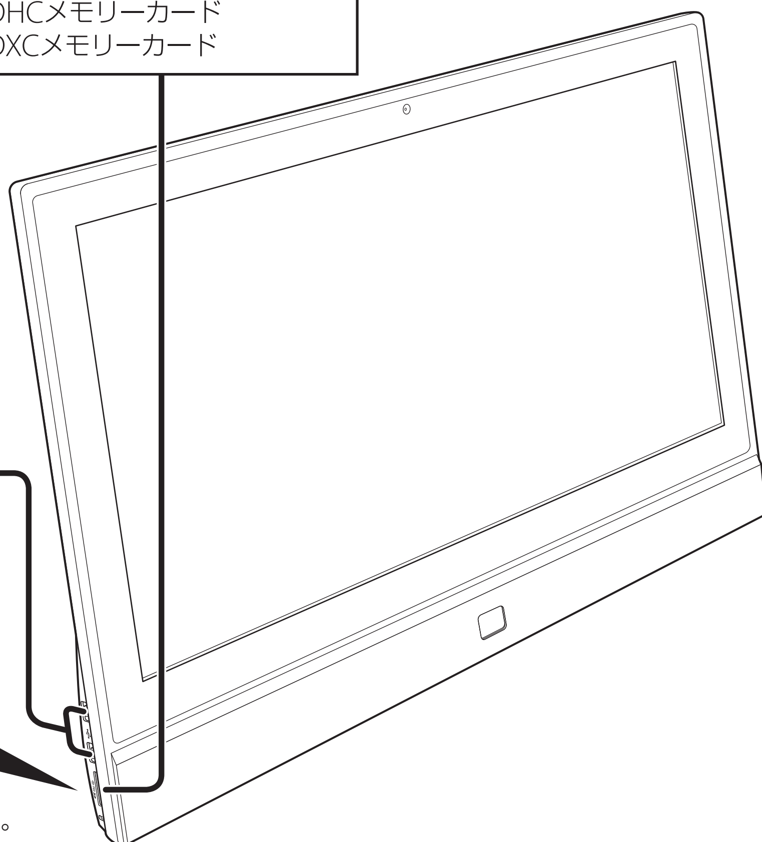


USBポート

USB2.0/1.1対応の周辺機器
（☞37ページ）



※本機では使用しません。



周辺機器を使用するには

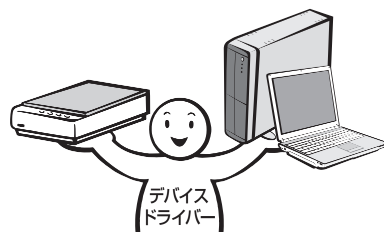
周辺機器を取り付ける前に、まず確認したり、周辺機器を作業しなければならないことを説明します。

プラグアンドプレイについて

Windowsには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバーがWindows側で用意されている必要があります。
用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバーをWindowsにインストールします。



周辺機器を使うときは、「デバイスドライバー」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。
デバイスドライバーは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合（CD-ROMディスクなどで提供されています）があります。周辺機器メーカーのWebサイトから入手することもできます。



■ デバイスドライバーがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバーが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

1. 周辺機器を取り付けたあとに、電源をONにします。

デスクトップ画面にデバイスドライバーのインストール中のウィンドウが表示されます。インストールが終了すると、周辺機器が使えるようになります。



プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動でおこなわれない場合があります。



■ デバイスドライバーがWindowsにない場合

周辺機器を取り付けたあとに電源をONにすると、デスクトップ画面右下の通知領域に、デバイスドライバーのインストールが失敗したことをあらわす吹き出しが表示されます。
周辺機器に付属のマニュアルをお読みのうえ、デバイスドライバーをインストールしてください。
通常、デバイスドライバーは次の方法で配布されています。
・周辺機器に付属のCDに収録
・周辺機器の製造元がWebサイトで公開



プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバーの組み込みや、リソースの設定を自分でおこなう必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。
詳細は、お使いの周辺機器メーカーへお問い合わせください。

取り付け時の注意事項



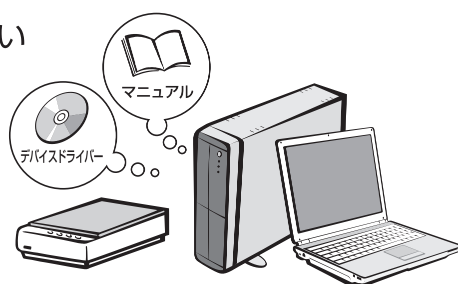
■ 体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているモジュールなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

■ ユーザーズガイドをよく読んでください

周辺機器などは、取り外しや取り付けを間違うと、機器を壊してしまう恐れがあります。
本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

■ 周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください



周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要となるソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。
周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル（デバイスドライバーなど）を理解し、これから始める接続作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。

AV機器との接続

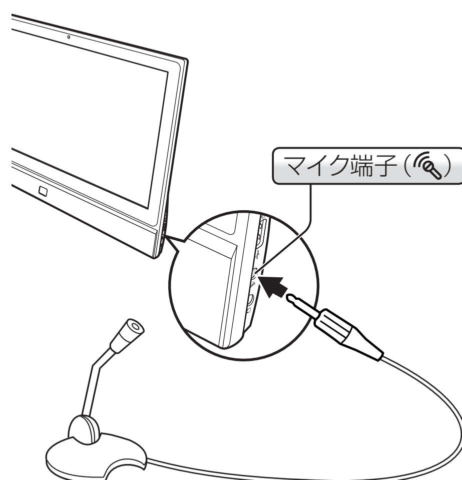
本製品と接続できるAV機器の紹介と接続方法を説明します。

マイクロホンと接続する

市販のマイクロホンのプラグを、本機のマイク端子（）に接続すると、マイクロホンから音声を録音できます。



・マイクロホンをご利用の場合は、初期設定のミュートを解除してからご利用ください。
・マイクロホンはミニピンプラグ付きマイクロホンを、電器店などでお求めください。
・スピーカーにマイクロホンを近づけると、スピーカーとマイクロホンが共振し、キーンという音が出ることがあります。これを「ハウリング」と呼びます。ハウリングは、マイクロホンをスピーカーから遠ざけるか、入力レベルを小さくする（ボリュームコントロールで調整）ことで防ぐことができます。

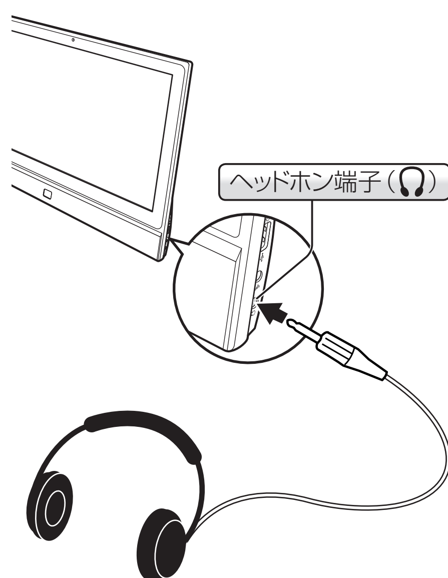


ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホン端子（）に接続すると、スピーカーから音声を出力せずに、ヘッドホンから出力できます。



ヘッドホンはミニピンプラグ付きヘッドホンを、電器店などでお求めください。



USB対応機器の使用

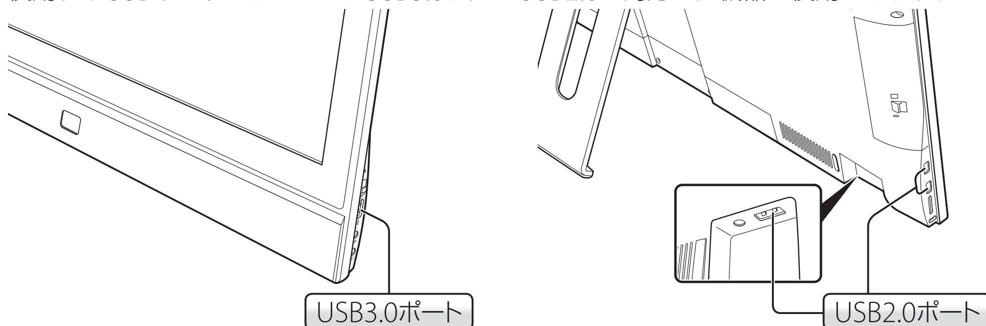
USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
・ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
・本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても構いません。
・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

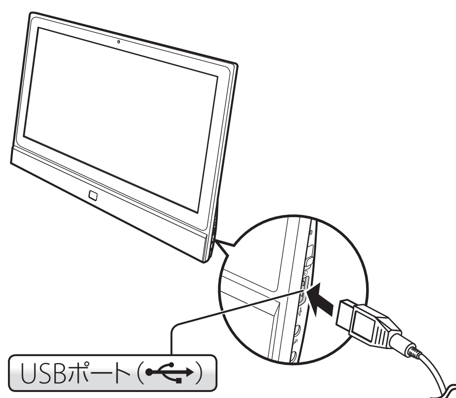


使用するUSBポートによっては、USB3.0またはUSB2.0に対応した機器が使用できます。



1. **本機のUSBポート（ ）に、USB機器のケーブルを差し込みます。**

しばらく待つと、デスクトップ画面にデバイスドライバーのインストール中のウィンドウが表示されます。インストールが終了すると、USB機器が使えるようになります。
接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。





・表示されないときは、USBポートからコネクターを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
・USB機器に、Windows 8対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 8で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
・次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。

メモリーカードの使用

本機にはメモリーカードを読み書きするスロットがあります。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードの種類と機能は、次のとおりです。メモリーカードを使用すると、画像ファイルなどのファイルデータの読み出し・書き込みができます。

使用できるメモリーカード	著作権保護機能	誤消去防止スイッチ
SDメモリーカード	あり	あり
SDHCメモリーカード	あり	あり
SDXCメモリーカード	あり	あり
MMC	なし	なし
メモリースティック	あり	あり
メモリースティックPRO	あり	あり

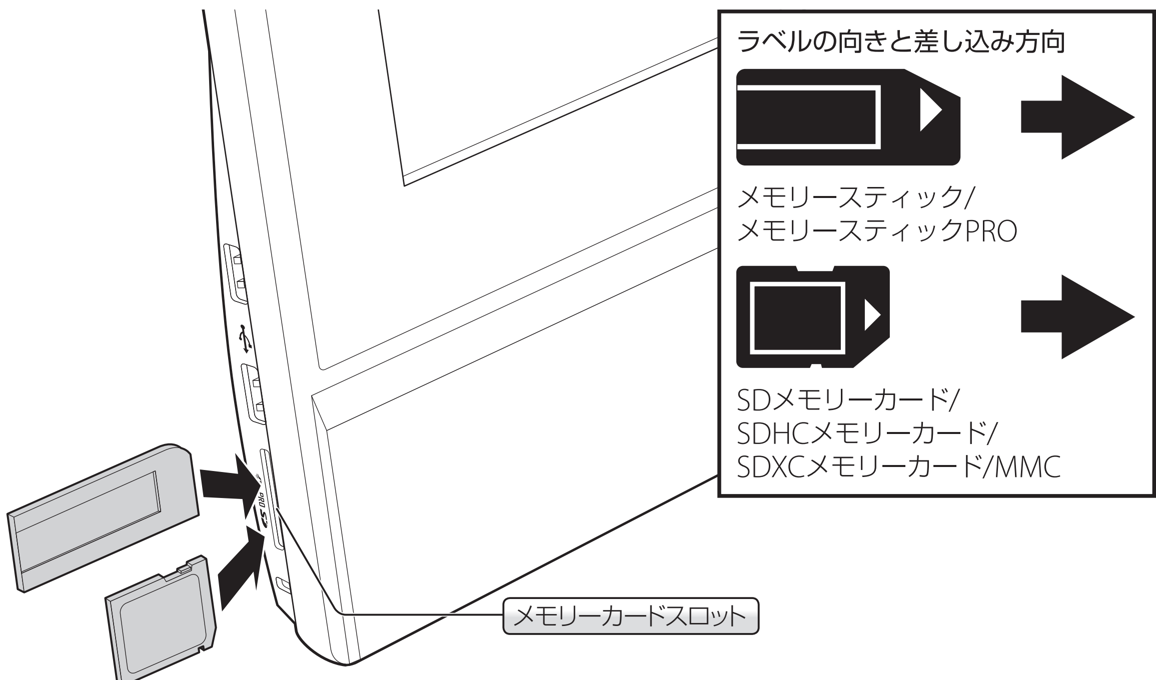
（本書作成時点の情報です）



・マジックゲートメモリースティックに著作権保護（暗号化）を施して記録された音声ファイルは、本機のメモリーカードスロットでは再生できません。
・SDXCメモリーカードの読み書きの速度は、SDおよびSDHCメモリーカードと同程度となります。

メモリーカードの差し込み方向

各種メモリーカードの差し込み方向は、次のとおりです。
各種メモリーカードのラベルの向きや切り欠きの位置を確認して、正しく差し込んでください。



メモリーカードの差し込み

メモリーカードを差し込み、使用するまでの手順を説明します。



ここでは、メモリーカードに「SD」という名前(ボリュームラベル)が付いていることを前提に、手順を説明します。

1. **差し込む向きを確認して、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを確実に差し込みます。**

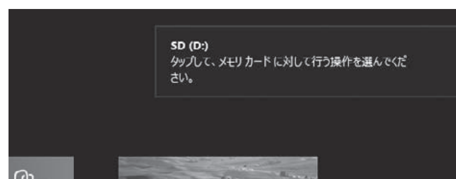
しばらくするとメモリーカードが本機に認識され、画面右上にメッセージが表示されます。



・メモリーカードには、それぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、表に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

2. **表示されたメッセージをクリックします。**

ダイアログが表示されます。



3. **実行させたい動作をクリックします。**



表示されるダイアログは、メモリーカードに入っているファイルによって異なります。

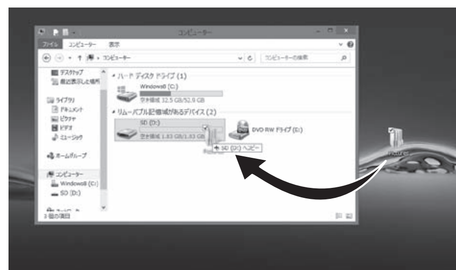


これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。



■ ファイルをコピーする

正しく認識されたメモリーカードのアイコンに、ほかのディスクからファイルをドラッグアンドドロップすると、メモリーカードにデータをコピーできます。



■ 誤消去防止スイッチについて

SDメモリーカードの側面、およびメモリースティックの背面には、誤消去防止スイッチがあります。スイッチを「LOCK」に合わせると、データを誤って消去することを防止できます。

メモリーカードの取り出し

メモリーカードの取り外しの手順は次のとおりです。

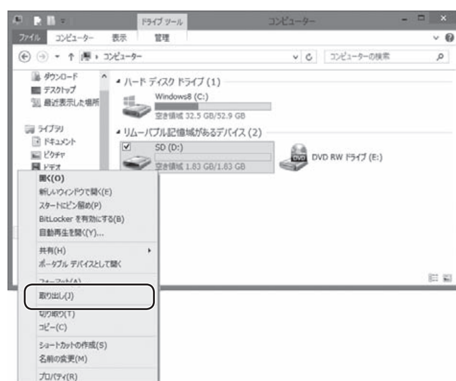
1. **メモリーカードの動作が終了していること（データの読み書きがおこなわれていない状態）を確認し、スタート画面の［アプリバー］→［すべてのアプリ］ボタン→［コンピューター］をクリックします。**

デスクトップ画面に移動し、「コンピューター」ウィンドウが表示されます。



2. **メモリーカードドライブを右クリックして表示されるメニューから、［取り出し］を選択します。**

メモリーカードドライブのアイコンが消えます。



3. **メモリーカードドライブのアイコンが消え、「コンピューターから安全に取り外すことができます。」というポップアップメッセージが表示されたことを確認した後、メモリーカードを取り出します。**





各種メモリーカードをWindows上で使用している間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリースロットの故障や、データが破損する恐れがあります。

おかしいなと思ったら



本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください
トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにタッチパネルをたたいたり、マウスのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

1 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」(42ページ)
本書以外にも、当社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows 8およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

2 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリーの準備」(43〜50ページ)、「リカバリーの方法」(セットアップガイド)
本機をご購入時の状態に戻します。(この作業をリカバリーといいます)
リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

3 オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡してください。
お電話の前に、セットアップガイドの「修理のお申込み」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる



本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

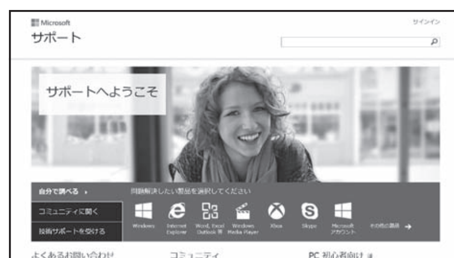
■ ONKYO問合せ窓口一覧
（デスクトップ画面上の［ONKYO問合せ窓口一覧］アイコンをダブルクリック）

ONKYOへの問い合わせ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。



■ マイクロソフト サポート オンライン
（http://support.microsoft.com/）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。



■ オンキヨーPCオンラインサポート
（http://pc-support.jp.onkyo.com/）

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨーPCカスタマーセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。



■ ヘルプとサポート
（［チャームバー］－［設定］ボタン－［ヘルプ］ボタン）

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。



リカバリーの準備



使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーとは

リカバリーとは、パソコンを工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（またはSSD）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

データのバックアップ
↓
リカバリーの実行
↓
データの復元



本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデータをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデータを復元する方法を説明します。リカバリーの実行方法については、セットアップガイドをご参照ください。

データのバックアップ

ここでは、Internet Explorerやユーザー辞書の設定などのデータを、外部メディアにバックアップする方法を説明しています。



お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。



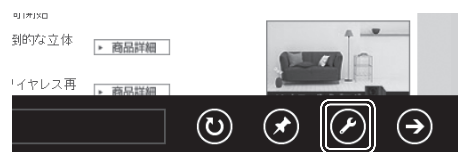
- Windows 8の標準メールはインターネット上のサーバーにデータが保存されているため、データのバックアップは必要ありません。リカバリーを実行した後に、再度アカウントを設定するとデータが読み込まれます。
- Windows 8の標準メール以外をご使用の場合、バックアップ方法はメールソフトの取扱説明書などをご参照ください。

■『お気に入り』のバックアップ

Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

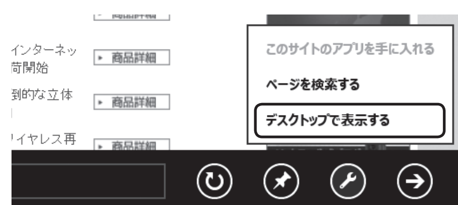
1. Internet Explorerで、アプリバーを表示し、[アイコン]をクリックします。

次の画面が表示されます。



2. [デスクトップで表示する]を選択します。

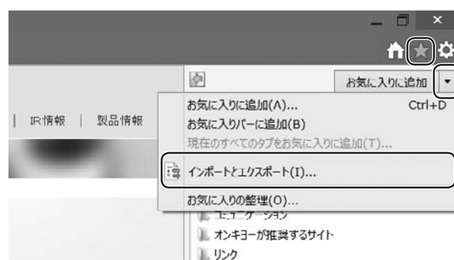
デスクトップ画面に切り替わり、Internet Explorerが起動します。



はじめに
セットアップ
使用する
周辺機器を使用する
トラブルの対応

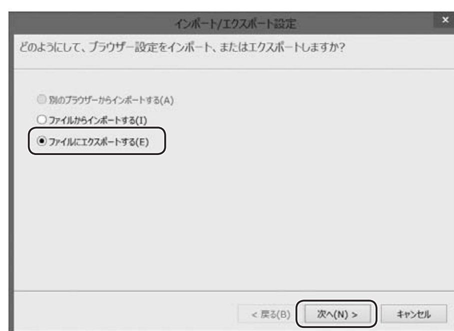
3. ★ボタンをクリックし、お気に入りに追加 ▼ の ▼ をクリックして表示されるメニューから［インポートとエクスポート］を選択します。

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。



4. ［ファイルにエクスポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。



5. ［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。

【エクスポートしたいお気に入りのフォルダーを選択してください】ダイアログが表示されます。



「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。



6. 「お気に入り」フォルダーを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。



7. ［参照］ボタンをクリックします。

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。



8. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。



9. **[エクスポート] ボタンをクリックします。**



手順5で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、[次へ] ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順7～8と同じです。

終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。



10. **[完了] ボタンをクリックします。**

以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。

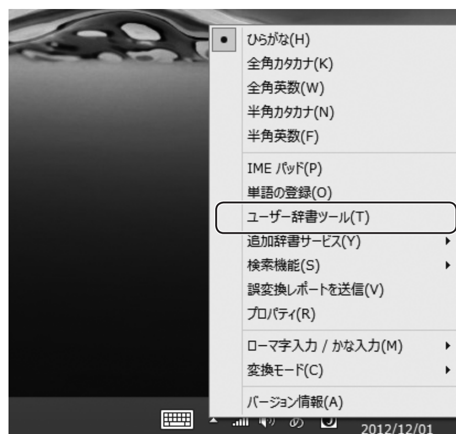


■ ユーザー辞書のバックアップ

現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

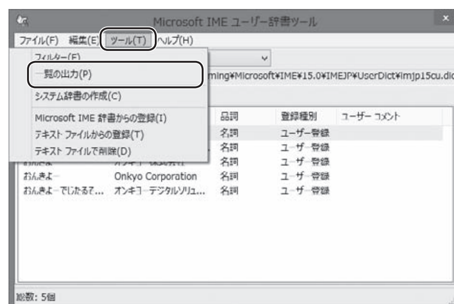
1. **デスクトップの通知領域に表示されているIMEアイコンを右クリックし、[ユーザー辞書ツール] をクリックします。**

「Microsoft IME ユーザー辞書ツール」が表示されます。



2. **［ツール］→［一覧の出力］をクリックします。**

【一覧の出力：単語一覧】ダイアログが表示されます。

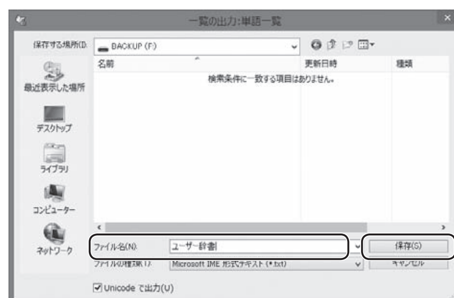


3. **［コンピューター］をクリックし、表示される一覧から外部記憶メディアを開きます。**



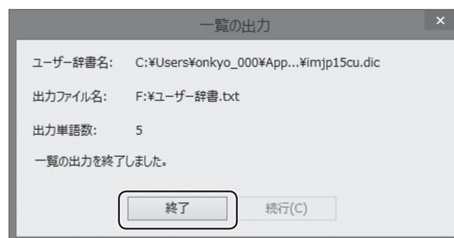
4. **任意のファイル名を入力して、［保存］ボタンをクリックします。**

【一覧の出力を終了しました】ダイアログが表示されます。



5. **［終了］ボタンをクリックします。**

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。





- **お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。**
- 以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。リカバリーの方法は、セットアップガイドをご参照ください。

データの復元

ここでは、リカバリー(☞セットアップガイド) をおこなった後に、アプリケーションソフトや、「データのバックアップ」(☞43〜46ページ) で保存した各データを復元する方法を説明しています。

■ アプリケーションソフトの設定

リカバリーをおこなうと、すべてのアプリケーションソフトは自動的に復元されます。必要に応じ、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
本製品に付属のアプリケーションソフトは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

1. **デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルクリックします。**

【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。



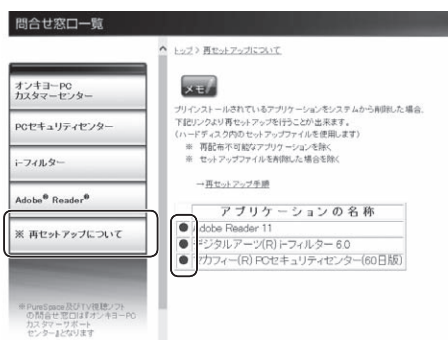
2. **左側の [※再セットアップについて] をクリックします。**

3. **表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をクリックします。**

4. **画面の指示にしたがってインストールをおこないます。**



本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。



■ バックアップしたファイルを復元する

あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデータを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

■ 『お気に入り』を元に戻す

Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

1. **Internet Explorerで、アプリバーを表示し、🔧をクリックします。**

次の画面が表示されます。



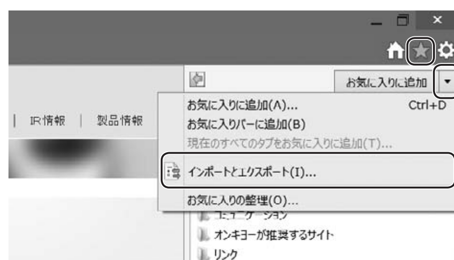
2. **[デスクトップで表示する] を選択します。**

デスクトップ画面に切り替わり、Internet Explorerが起動します。



3. **★ボタンをクリックし、 お気に入りに追加 ▾ の ▾ をクリックして表示されるメニューから［インポートとエクスポート］を選択します。**

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。



4. **［ファイルからインポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。



5. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。



「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。



6. **［参照］ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。



7. **バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。



8. **[次へ] ボタンをクリックします。**

【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。



手順5で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、[次へ] ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順6～8と同じです。



9. **「お気に入り」フォルダーを選択して、[インポート] ボタンをクリックします。**

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。



10. **[完了] ボタンをクリックします。**

以上で『お気に入り』の復元は完了です。

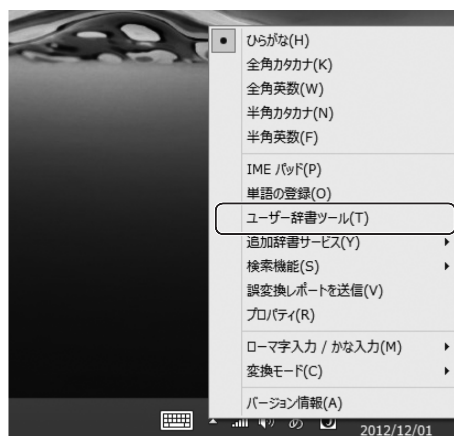


■ ユーザー辞書の復元

ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

1. **デスクトップの通知領域に表示されているIMEアイコンを右クリックし、[ユーザー辞書ツール] をクリックします。**

「Microsoft IME ユーザー辞書ツール」が表示されます。



2. **［ツール］→［テキスト ファイルからの登録］をクリックします。**

【テキスト ファイルからの登録】ダイアログが表示されます。

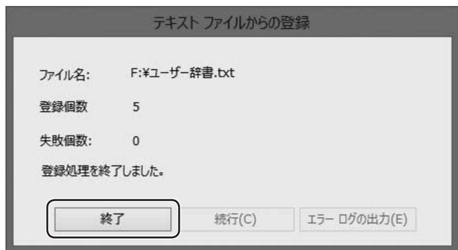
3. **［コンピューター］をクリックし、表示される一覧から外部記憶メディアを開きます。**

4. **バックアップをとったユーザー辞書ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【登録処理を終了しました】ダイアログが表示されます。

5. **［終了］ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。



BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアップログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。



BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。



・ハードディスクセキュリティーなどの設定については、ONKYO電子マニュアルに付属のBIOSマニュアルを参照してください。
・BIOSを設定するには、別売のUSB対応キーボードを接続する必要があります。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1. 本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。

2. "ONKYO"のロゴが入った画面が表示されたら、F2キーを押します。

しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

※ロゴは、製品によって異なる場合があります。

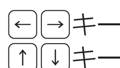




・"ONKYO"ロゴが入った画面でF7キーを押すと、起動デバイスの選択画面が表示されます。
・BIOSの詳しい操作方法については、BIOSセットアップマニュアルを参照してください。BIOSセットアップマニュアルは、パソコンにPDFファイルなどのデータ形式で保存されています。デスクトップ上にある「取扱説明書」アイコンをダブルクリックしてください。

■ 項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

キー ・メインメニューの項目を左右に移動する
キー ・項目を上下に移動する
・設定値を変更する
キー ・サブメニューへ移動する
・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる
キー ・次項目へジャンプする
キー ・BIOSセットアッププログラムを終了する
・前メニューに戻る（サブメニューの場合）
・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンターへ運搬。
4. リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み **http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html**

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

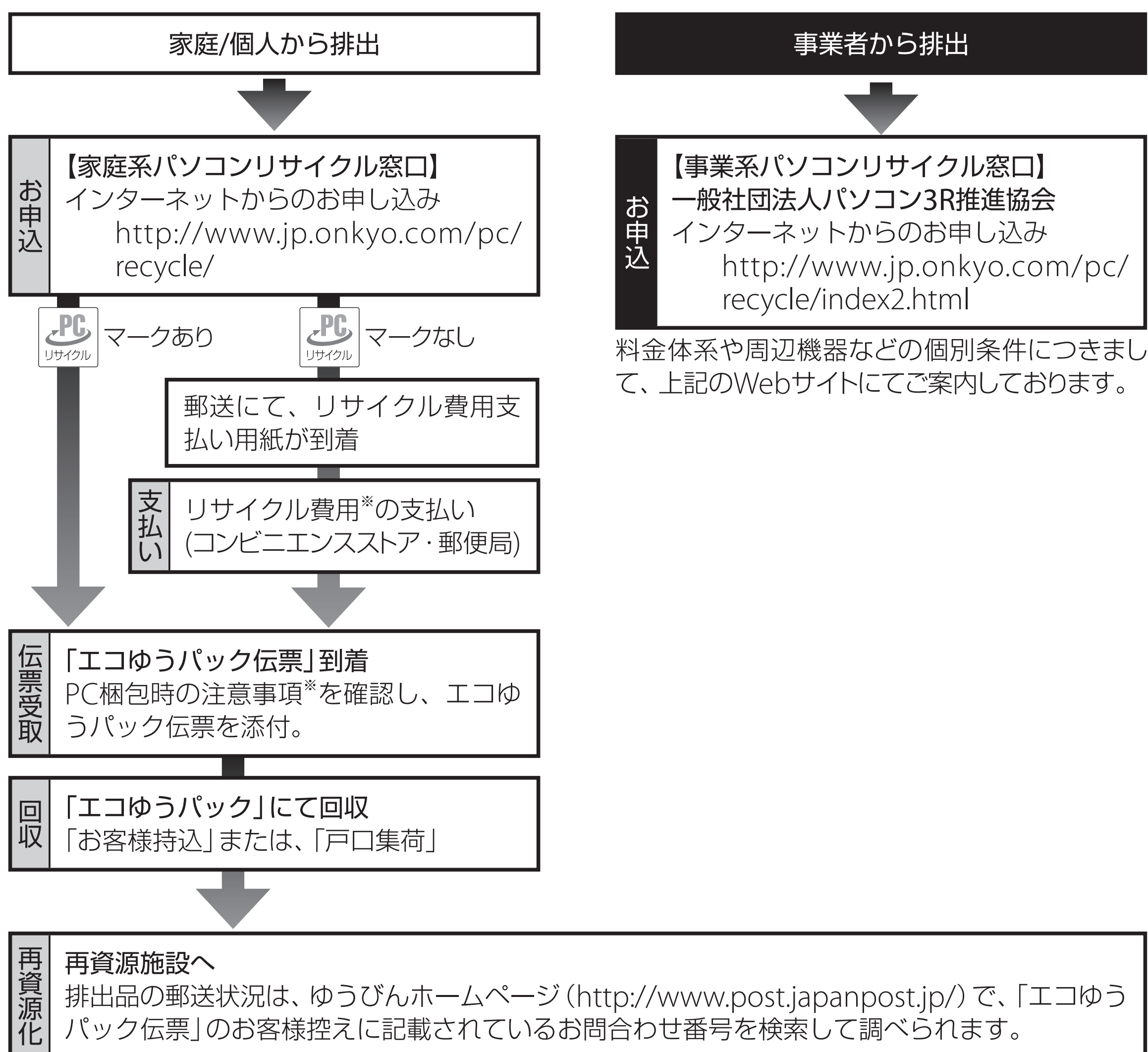


対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）」(☞53ページ)をご参照ください。



- パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社Webサイトでも紹介しております。ぜひご覧ください。
  http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
- 同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

■ 回収の仕組み



再資源化

再資源施設へ

排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ(http://www.post.japanpost.jp/)で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合わせ番号を検索して調べられます。

■ リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

(本書制作時)

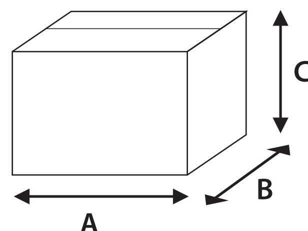
※なお、お支払い時には各種振込手数料(コンビニエンスストア:¥63、郵便局(窓口):¥110、郵便局(ATM):¥70)が発生します。予めご了承ください。

PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で構いません。
■無梱包での輸送はできません。

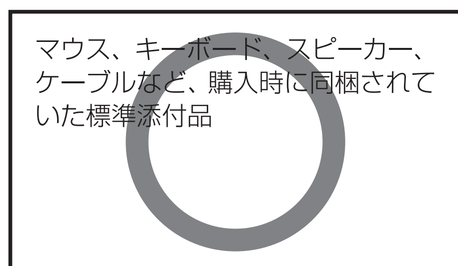
◎梱包する際の条件は以下の通りです
・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A＋B＋Cの長さ＝1.7m以内



＜条件を満たさない場合＞
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、リサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。





回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20080910.pdf)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

家庭系パソコンリサイクル窓口

インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。
- ●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピューターを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。
※回収再資源化料金については、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(☞53ページ)をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に
- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作をおこなう
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化(フォーマット)する
- ・ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリーケーションソフトなど)を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をおこなう必要があります。

索　引

ま

や

ら

わ

英数字

MEMO

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows 8以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書のすべての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

TW21A-B36シリーズ　ユーザーズガイド　2012年12月 初版

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社

本社　東京都台東区柳橋1丁目4番4号　〒111-0052

P1212-1

DC01-N1169-02A